

## 45. 「精神保健ボランティア入門講座」事業

グループ名 精神保健ボランティアグループ夢ふうせん  
 代表者 三 田 進 一

### ① 活動の目的

- ・「心の病」を持つ人が、地域で安心して生活していくためには周囲の理解と共に、治療に寄り添う人が必要です。
- ・この講座を通じて一部の市民でも様々な視点から精神保健に対する理解を深め、「心の病」の治療に寄り添う人が出てくることを期待しています。
- ・その上で共生できる街づくりを目指すきっかけにすることが目的です。

### ② 活動概要「講座概要」

- (1) 対象・定員：一般市民、学生 20名
- (2) 共 催：茨木市社会福祉協議会、
- (3) 日 程：11月13日（月）、11月20日（月）、いずれも10：00～12：00
- (4) 受講者 数：11月13日 14名、 11月20日 19名、 計 延33名
- (5) 会 場：茨木市福祉文化会館 4階 茨木市社会福祉協議会会議室
- (6) 講座内容：下 記

回数	日 時	テ ー マ	司会・講師・説明
第1日	11月13日 (月)	① はじめに	司会 藤井 希美氏（茨木市社会福祉協議会職員） 講師 地域生活支援センター「菜の花」和布浦 望氏 「夢ふうせん」三田進一
		② ボランティア活動の意義と役割（30分）	
		講演「心の病とは」（パワーポイント）（60分） 「夢ふうせん」活動紹介（30分）	
第2日	11月20日 (月)	① 講演「精神保健ボランティア活動について～自分を見つめ、社会を発見する旅への案内～」 ② 質疑応答（110分）	講師 放送大学客員教授 岩田 泰夫氏
		① 今後の活動について②挨拶（10分）	「夢ふうせん」三田進一

### ③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	70,000円
支 出	講師謝礼（岩田 泰夫氏）	30,000円
	講師謝礼（和布浦 望氏）	10,000円
	交通費 延33人×@1000円（講座運営補助、チラシ配架）	33,000円
	印刷費（チラシA4 片面カラー 1500部 印刷代 5620円、代引手数料 300円）（税別）	6,394円
	印刷費（横幕 W1800mm×H300mm 1600円）（税別）	1,728円
	郵送費（切手代）	850円
	合 計	81,972円

# 精神保健ボランティア入門講座 アンケート

(11/20 19名分 内2名は白紙)

## ① この講座をどこで知ったか

- A ボランティアセンター 0名      B 市広報 7名  
C 社協だより 0名      D 公民館・コミュニティセンター 1名  
G その他 8名 (茨木病院・デイケア・夢ふうせんから・ピラ、案内書・人に聞いて)

※このような講座チラシ等がどこにあったら情報を入手しやすいか

- 病院のロビー・デイケア 2名      市役所・駅とか 1名  
各施設のパンフレット置き場 1名      市の広報 1名

## ② 日程や時間帯

- A 適切だった 16名  
(1回目と2回目両日アンケートの時間が沢山ほしい気持ち)  
B 改善したほうがもっと参加しやすい 1名  
(具体的に：話がいまいちよくわからない。) ←内容について？

## ③ 時間配分

- A 適切 14名  
B 長かった 3名 (具体的に：長く感じた)  
C 短かった 1名 (具体的に：おもしろくない) } 当事者(茨木病院の参加者より)

## ④ 講座全体の印象に残った内容やご意見、改善点等

- ・初めてなので大変勉強になりました。
- ・「共生」がとても大切なことであることがよくわかりました。
- ・岩田教授や三田さんのお話は具体的であり、よかったです。
- ・とても楽しく受講できました。精神障害をチャレンジしている方との接し方を知ることが出来ました。必要性も含めて大切な事も知ることが出来ました。また受講したいです。
- ・2日間とても心が動きました。1回目出席した帰りは“目の前がパーっと明るく”なるような心が安心できたという気持ちになりました。  
先生の質問コーナーで、皆様の質問を共に聴けて本当にお互いが力をもらっていることを実感したような気持ちです。
- ・初めて参加させて頂きました。精神障害の人と関わり方、ボランティアについて、あと岩田先生のお話はとても良かったと思います。ありがとうございます。
- ・初めて参加しましたが、いいお話でした。勉強になりました。こういうボランティアがあることがわかり良かったです。

- ・既に精神保健ボランティアに関わっておられる方のお話も聞いて良かったです。途中から入っていたので少しわかりにくかったのですが、良かったです。
- ・講話が早く自分の頭で理解するのに少し時間がかかり話が進んでいて分からなくなってしまうことがあった。でも当事者との接し方など分かって良かったです。関わり合いが今後少ないと講座の内容を忘れてしまってやってはいけない関わり方をしてしまいそうで心配になります。
- ・事業者向けの内容だったと思う。話の内容は理解したが、実体験からの話ではなかったので心に響くものはあまりなかった。講座なので仕方ないかもしれませんが。
- ・話を順序よく話してほしいかった。飛び飛びでわかりにくい。
- ・話はすごく面白かったですが、資料通りでなかったので頭に入りづらかったです。
- ・夢ふうせんの具体的な活動の様子を聞きたかった。
- ・実際グループの人々々と交わりたかった。
- ・当事者と専門職とでは基本的に立場が違うと実感した。

#### ⑤ その他、ボランティア講座に取り上げてほしいテーマや内容

- ・もっと具体的なボランティアが紹介されると思い参加したが、よくわからない話が続き残念だった。
- ・他の精神障害の病状・生活状況など知りたく思います。

#### ⑥ ボランティアセンターから依頼や情報等を送って良いか

はい 11名 ・ いいえ 5名 ・ 未記入 1名

今井 卓二・須古 京子・片山 正子・妹尾 紀子・種池 博

松尾 美加子・小林 聡・西岡 京子・北川 聡子

宇土 順子 【仕事しているので参加できることが少ないかもしれませんが  
参加出来るものがありましたら参加します。】

尾高 美智江【参加できるかわかりませんが、それでもよければ】





29.11.13  
会場内開講前  
横幕と三田



29.11.13  
講演  
「心の病とは、和布浦 氏



29.11.20  
講演  
「精神保健ボランティアについて」  
岩田泰夫 氏